あいの助密書

～愛・逢・I～の助

お陰様で第26号
発行所
有限会社猪木酸素
玉島店
ライフサポートあい
の助岡山営業所

今年もお世話になりました

2022年あいの助3大ニュース

地域の皆様の暮らしを「陰ながらそっと支える」をモットーに日々活動中の有限会社猪木酸素玉島店ライフサポートあいの助です。早いもので今年の3大ニュースを報告する時期がやって参りました。あいの助激動の一年を振り返ります。

第1位

本社社屋　新築～
倉敷事業所再開へ始動

玉島本社社屋が建て替えとなり、十一月に竣工しました。勿論、母体であるガス事業としての社屋ですが、これを機に、なんと倉敷事業所再開へ向けて始動します。スタッフは、元々玉島本社で勤務しておりました当事業部の責任者である樋口と、岡山営業所から田中（兄）が異動となります。双子の兄弟でのユニゾン対応は間もなく見納めとなるやもしれません。気になる方は何か用事をお申し付けくださいますよう。

これまで岡山では大変お世話になりました。玉島に異動となりましても変わらぬご厚情を賜りたくお願い致します。

第2位

展示会・イベントの再開

新型コロナが蔓延する世の中となり、福祉用具新商品を紹介する展示会やセミナーなどが軒並み中止となり、開催されたとしてもウェブ上での開催で、実際に実機に触ったり、対面で説明を受けたりといったことは終ぞなくなっていました。ところが、今年は、コロナとの付き合い方が漸く判ってきたことから、人数制限等はあったもののリアルでの展示会が何度か開催されました。日常が、少し形を変えながらも戻ってきたことに感慨を覚えつつ展示会場を廻りました。

右の写真は、福祉用具の展示会ではなく「どてらい市」という工作機械、産業機器、機械工具、住設建材などの展示即売会なのですが、玉島での営業展開を見据えてPRのため参加しました。

第3位

定光　梯子から落ちる

それは悪夢のような出来事でした。真菰を育てた田んぼ横に小屋があるのですが、台風で屋根の一部が吹き飛ばされたので、修理の為、はしごに登って作業していたのです。すると、突然ふら～りと梯子が壁から離れ・・・若い頃なら、すたっと地面に着地したことでしょうが、既にメタボ歴十数年の、贅肉の鎧を着こんだ体は2M数十センチの高さから無残にも右腕、右わき腹から地面に叩きつけられたのでした。猛烈な痛みから嘔吐し、満足に息も出来ず、人気のない山の中でうずくまること数分、激痛が去り、落ち着いたところで、なんとか左手主体の運転で帰途につきました。その夜は、痛みに耐えながらまんじりともせず過ごし、翌日受診。幸いにも骨折はしておらず大事には至りませんでしたが、暫くは、鞄を持つのがやっとで、とても車いすやベッドの納品には耐えられない状態となりました。この窮地に、田中兄弟が急遽、納品や住宅改修の対応を代行してくれ、難なくこなしてくれました。この経験は三つの気付きを私に与えてくれました。ひとつめは、罹病され、身体の痛みや不調を抱え、充分な睡眠を摂れず日々過ごされている方々の、苦しさのほんの一部を共感できたこと。ふたつめは、改めて、後輩の成長を実感出来たこと。三つめは、「もう若くはない、無茶もたいがいにしとけ」という天の声を聞けたことです。

■■■■■■■■■■

本年度も皆様のご厚情を賜り、誠に有難うございました。来年は、弊社も新体制でのスタートになります。不安と期待が入り混じった年末となっておりますが、皆様へのサービス向上の歩を緩めることなく勤めていく所存です。是非、叱咤激励のほどお願い申し上げます。本当に今年一年お世話になりました。

皆様におかれましてはどうぞ良いお年をお迎えくださいますようお祈り申し上げます。

農園の近況

アボカドたちの近況報告です。さすがに師走となり、冷え込みも厳しくなってきました。

2回目の越冬のため、再びビニールハウスへ移動。少しずつ生長して大きくはなっているのですが、予想より生長の速度が遅い。鉢が小さすぎて根詰まりしているのでは？と憶測し大きな鉢に植え替えることにしました。有料老人ホーム桜日和磯島施設長と作業中。